【会報 第668号】
令和6年1月20日

特定非営利活動法人　草加市カヌー協会

草加パドラーズ

★草加パドラーズ事務局　info@soka-paddlers.com

パドラーズに参加した きっかけ？

2024年1月20 日(土)　曇　水位低め、ゆるやかな上げ潮

【参加者】 関谷、間宮、並木、矢部、木下(越谷)、磯部、三池、大原、渋谷、黒田、嶋田(体験) 11名

【目的地】 蒲生の往復

【回収したごみ】　35ℓ換算8袋、木材、太い針金、木工用ボンド、セメント(袋入新品)注射器(針付き)

【ごみの特徴】　ペットボトル、缶、瓶の容器の割合は、8袋中2袋分

【活動リーダー】 黒田

【日芸大生、カヌー体験　撮影依頼を受ける】

本日、日大芸術学部に所属する学生（嶋田理来さん）が体験にきました。大学の課題で『近くの街のドキュメンタリーを撮影する』というものがありパドラーズに白羽の矢を立てたとのこと。本日は、事前打ち合わせのために来草。

タンデム艇も準備しましたが、レク艇にいきなり乗船していただき、はじめは、バランスを取ることで精一杯の様子でしたが、少しずつ感覚を覚え、往路でゴミを拾えるまでになりました。

休憩は蒲生のガストで。皆さん、学生からインタビューを受け、パドラーズに参加したきっかけなどを話してくださいました。

【以下、対話の記録】

【矢部】 ゴミを拾ってきれいにしたら犯罪が減るのではないか？！と思って個人で行動していたところ、カヌーでゴミを拾う団体（パドラーズ）と出会い、参加することになった。

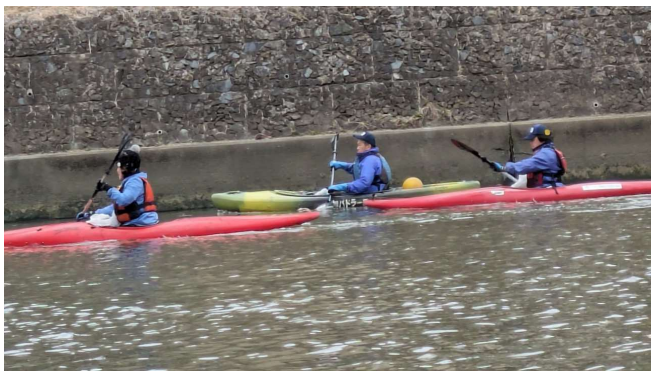
【三池】 綾瀬川治いをランニングしている時に、かつてから憧れていたカヌーを見かけて活動を知った。
水の上からの景色が見たくて、SNSを通して参加を希望しました。

【並木】 元々カヌーを持っていて、たまに乗っていた。草加市の中央図書館でたまたま「草加パドラーズ展」の展示を見て、活動に興味を持ち連絡を取った。体験入部で活気のある団体だなと好感を持ち、参加した。

【渋谷】 こういう事がやりたかったが、今まで住んでいたところの川は、護岸が高すぎたり　水深が浅すぎたりしてできなかった。また、どの川も安全対策として、高い柵で覆ったりして、川に入ることを難しくしている。草加の川は水質には問題があるが、流れも緩やかで、川幅も狭く、見渡すことも出来るので、安全にカヌーをするには適していると思う。また、先人が準備した艇の種類数が豊富でいろいろ楽しめるところも気に入っている。ここは、参加しやすい、活動しやすいと感じてすぐに仲間に加わった。いろんな人がいて、いろんなやり取りができて非常に面白い。

【磯部】 大学の頃、カヌー競技をしており
その後キャンプ場でのレクリエーション程
度しか漕ぐ機会がありませんでした。
カヌーを漕ぎたい、という気持ちを持ち
つつ草加に住んでいたところ、パドラーズ
をたまたま見つけ娘と参加するようになり
ました。

パドラーズ体操について
体操は、大学が体育学部のため、もともと
知識がありました。この組織で役に立つ
事が何か無いかと考え、考案しました。対
象になる年齢層を考慮し、誰でもやりや
すい内容を実施しています。



【黒田】 岩手県沿岸部で東日本大震災を
経験。草加市はリノベーションまちづくり
を行っていて、職場近くの旧松原団地で、
毎日古い建物が取り壊されていく様子が
震災と重なり、少し気持ちが滅入ってい
た。そんな時、市立図書館で草加パドラー
ズ展を見て、漁師を目指す息子にも良い
機会かもしれないと考え、息子と一緒に
入会した。

帰りは見ていて安心してカヌーを操作で
きるようになっていました。
来週末の土日は、撮影します。(撮影)
皆様、ご協力よろしくお願いします。

【学生より】 全部で4分間の映像を作り
ます。インタビューなどは20秒以内で答
えていただけたら助かります。ご協力よ
ろしくお願いいたします。
インタビューの内容は、この活動に参加し
たきっかけ、綾瀬川のゴミの現状、垂れ流
しやポイ捨てについてなどなど。。。
皆様の思いを短い言葉にして教えてくだ
さい。

(文責:黒田)